

NY マーケットレポート (2015 年 11 月 19 日)

NY 市場では、年内の米国の利上げ観測を背景にドルが上昇していた反動や、日米の金融政策関連の発表が終了したことで、一服感が広がり、ドルは序盤から大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、米長期債利回りが低下したことも、ドル売りの動きを後押しした。また、米国の主要な経済指標の発表があったものの、反応は限定的となった。その後は、終盤まで小動きの展開が続いた。

2015/11/19 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値	LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.36	123.64	123.10	USD/JPY	123.37	122.99
EUR/JPY	131.67	132.27	131.65	EUR/JPY	131.89	131.43
GBP/JPY	188.38	188.82	188.15	GBP/JPY	188.45	187.71
AUD/JPY	88.25	88.47	87.78	AUD/JPY	88.39	88.14
EUR/USD	1.0674	1.0718	1.0655	EUR/USD	1.0718	1.0677

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比	欧州主要株価	終値	前日比
日経平均	19859.81	+210.63	英FT100	6329.93	+50.96
ハンセン指数	22500.22	+311.96	仏CAC40	4915.10	+8.38
上海総合	3617.06	+48.59	独DAX	11085.44	+125.49
韓国総合指数	1988.91	+26.03	ST欧州600	380.96	+1.63
豪ASX200	5242.57	+109.45	西IBEX35指数	10354.70	+93.60
インドSENSEX指数	25841.92	+359.40	伊FTSE MIB指数	22191.99	+100.43
シンガポールST指数	2919.83	+33.75	南ア 全株指数	52116.26	+461.72

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値	米主要株価	終値	前日比
USD/JPY	122.89	123.23	122.63	米ダウ平均	17732.75	-4.41
EUR/JPY	131.87	132.05	131.44	S&P500	2081.24	-2.34
GBP/JPY	187.89	188.18	187.76	NASDAQ	5073.64	-1.56
AUD/JPY	88.36	88.51	88.04	日経225 (CME)	19865	-90
NZD/JPY	80.53	80.86	80.19	カナダ トロント総合	13473.83	+73.86
EUR/USD	1.0732	1.0763	1.0669	ロシア ボルサ指数	44620.60	+115.01
AUD/USD	0.7190	0.7215	0.7153	ブラジル ボベスバ指数	48138.89	+703.31

11/20 経済指標スケジュール
11:00 【NZ】10月クレジットカード支出
14:00 【日】11月日銀・金融経済月報
16:00 【日】10月コンビニエンスストア売上高
16:00 【独】10月生産者物価指数
17:00 【トルコ】11月消費者信頼感指数
18:30 【英】10月公共部門純借入所要額
18:30 【英】10月公的部門純借入額
22:30 【カナダ】10月消費者物価指数
22:30 【カナダ】9月小売売上高
23:00 【メキシコ】3Q GDP
00:00 【欧】11月消費者信頼感
01:00 【米】11月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1077.90	+9.20
NY 原油	40.54	-0.21
CMEコーン	370.25	+2.00
CBOT 大豆	860.00	+2.25

米国債利回り	本日	前日
2年値	0.89%	0.88%
3年値	1.21%	1.21%
5年値	1.67%	1.68%
7年値	2.01%	2.04%
10年値	2.24%	2.27%
30年値	3.00%	3.04%

11/20 主要会議・講演・その他予定
・黒田日銀総裁 挨拶
・セントルイス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

《企業決算》

米ベスト・バイ

第3四半期の調整後1株利益は0.41ドル（予想0.35ドル）

22:00

ドル/円 123.12 ユーロ/円 131.67 ユーロ/ドル 1.0695

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6355.86	+76.89	ダウ 先物ミニ	17708	+19
仏 CAC40	4938.27	+31.55	S&P 500 ミニ	2084.50	+4.75
独 DAX	11116.71	+156.76	NASDAQ 100 ミニ	4606.75	+14.25

(出所: SBILM)

22:00

《経済指標の結果》

10月ポーランド鉱工業生産販売(前月比) 2.0% (予想 1.9%・前回 15.1%)

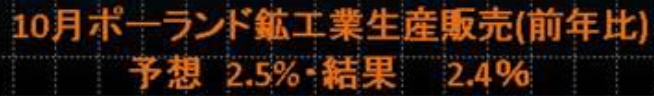
10月ポーランド鉱工業生産販売(前年比) 2.4% (予想 2.5%・前回 4.1%)

10月ポーランド生産者物価指数(前月比) 0.1% (予想 -0.1%・前回 -0.1%)

10月ポーランド生産者物価指数(前年比) -2.3% (予想 -2.5%・前回 -2.9%)

10月ポーランド小売売上高(前月比) 5.0% (予想 4.4%・前回 -0.5%)

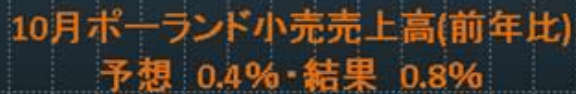
10月ポーランド小売売上高(前年比) 0.8% (予想 0.4%・前回 0.1%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 20

◀ 経済指標の結果 ▶

南ア中銀 政策金利 6.25% (予想 6.00%・前回 6.00%)



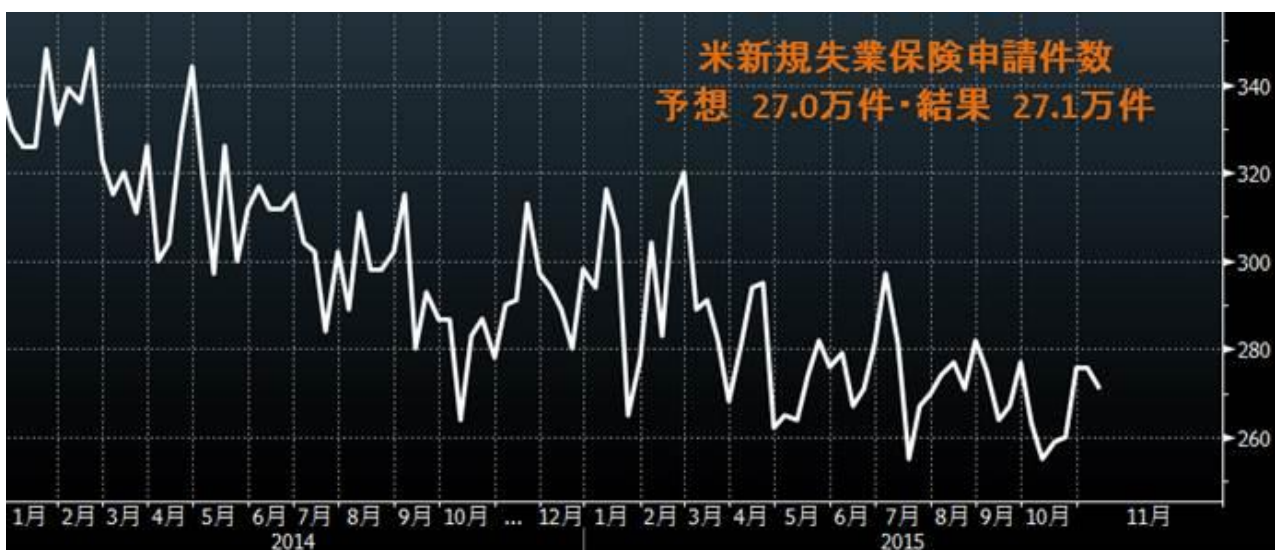
(出所：ブルームバーグ)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 27.1 万件 (予想 27.0 万件・前回 27.6 万件)

米失業保険継続受給者数 217.5 万人 (予想 216.7 万人・前回 217.7 万人)
前回発表の 217.4 万人から 217.7 万人に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
15/11/14	271,000	・	-5,000	・	270,750	・	***	・	***
15/11/07	276,000	・	0	・	267,750	・	2,175,000	・	1.6%
15/10/31	276,000	・	+16,000	・	262,750	・	2,177,000	・	1.6%
15/10/24	260,000	・	+1,000	・	259,250	・	2,170,000	・	1.6%
15/10/17	259,000	・	+3,000	・	263,250	・	2,146,000	・	1.6%
15/10/10	256,000	・	-6,000	・	265,250	・	2,172,000	・	1.6%
15/10/03	262,000	・	-14,000	・	267,250	・	2,165,000	・	1.6%
15/09/26	276,000	・	+9,000	・	270,500	・	2,209,000	・	1.6%
15/09/19	267,000	・	+3,000	・	271,750	・	2,195,000	・	1.6%
15/09/12	264,000	・	-11,000	・	272,500	・	2,244,000	・	1.7%
15/09/05	275,000	・	-6,000	・	275,750	・	2,243,000	・	1.7%

受給者数は集計が1週間遅れる

22:30

《経済指標の結果》

11月フィラデルフィア連銀景況指数 1.9 (予想 -0.3・前回 -4.5)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《フィラデルフィア連銀指数》

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
景況指数	1.9	-4.5	-6.0	8.3	5.7	15.2
仕入価格	-4.9	-0.1	0.5	6.2	20.2	17.2
販売価格	-0.4	1.3	-5.0	-4.9	1.7	4.8
新規受注	-3.7	-10.6	9.4	5.8	7.1	15.2
出荷	-2.5	-6.1	14.8	16.7	4.4	14.2
受注残	2.4	-11.7	-6.6	-1.0	-6.3	3.7
入荷遅滞	0.5	-1.2	0.5	-0.4	-4.5	-4.6
在庫水準	-7.9	-17.4	-2.7	0.2	-5.7	3.1
雇用者数	2.6	-1.7	10.2	5.3	-0.4	3.8

6ヵ月先予想

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
景況指数	43.4	36.7	44.0	43.1	41.5	39.7
仕入価格	20.7	17.0	29.2	38.4	37.3	46.3
販売価格	10.6	10.6	6.2	8.7	20.2	12.8
新規受注	48.8	38.9	44.4	46.4	46.3	44.9
出荷	43.9	37.1	41.4	37.6	49.7	55.8
受注残	15.5	8.1	12.4	26.2	33.6	23.4
入荷遅滞	1.6	-4.2	2.2	1.0	10.3	21.1
在庫水準	1.2	-5.1	3.9	12.4	-1.3	11.3
雇用者数	28.2	14.0	17.9	21.5	22.2	22.3

22:30

《経済指標の結果》

9月カナダ卸売売上高（前月比） -0.1%（予想 0.2%・前回 -0.1%）



(出所：ブルームバーグ)

22 : 45

《 要人発言 》

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・「政策軌道が漸進的と考える理由は多数ある」
- ・「FOMC は後手に回っていない」
- ・「パリのテロ、FOMC の経済見通し変えず」

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17692.97	+44.19
ナスダック	5079.10	+3.90

(出所：SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

10 月米景気先行指標総合指数 (前月比) 0.6% (予想 0.5%・前回 -0.1%)

前回発表の-0.2%から-0.1%に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《米景気先行指数》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
先行指数	0.6	-0.1	-0.1	0.0	0.6	0.5	0.6
一致指数	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2
遅行指数	0.2	0.6	0.2	0.3	0.8	0.3	0.1

0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、前日に大幅上昇した反動で売りが出る一方、アジアや欧州の株価が堅調な動きとなっていることを好感した買いもあり、主要株価はもみ合いの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-0.5万件的の27.1万件的となり、10月24日までの週以来の低水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比+0.3万件的の27万750人だった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-0.2万人の217.5万人となり、3週ぶりに減少した。受給者数の4週移動平均は、前週比+750人の216.7万人となった。受給者比率は、前週比横ばいの1.6%となった。

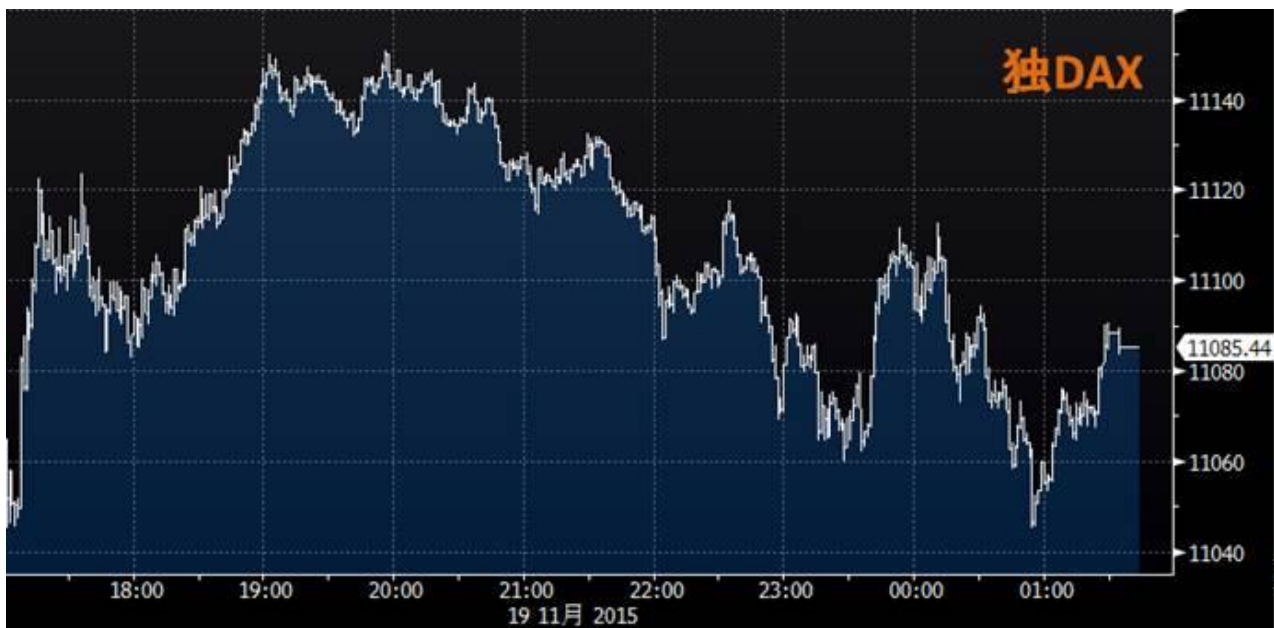
(2) 10月の米景気先行指標総合指数は、市場予想を上回る+0.6%となり、4ヵ月ぶりの大幅な伸びを記録した。LEIを構成する10系列のうち9系列がプラスに寄与した。長短金利スプレッドとS&P500種株価指数、住宅着工許可件数が上昇、ISM新規受注指数のみ低下した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6329.93	+50.96
仏 CAC40	4915.10	+8.38
独 DAX	11085.44	+125.49
ストック欧州 600 指数	380.96	+1.63
ユーロファースト 300 指数	1502.33	+6.50
スペイン IBEX35 指数	10354.70	+93.60
イタリア FTSE MIB 指数	22191.99	+100.43
南ア アフリカ全株指数	52116.26	+461.72

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績や米景気への先行き期待に加えて、ECB が追加金融緩和に踏み切るとの観測を背景に、堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17728.04 (-9.12)、S&P500 2082.00 (-1.58) ナスダック 5077.77 (+2.57)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米FRBが12月に利上げを開始するとの見方を背景に、政策金利の動向に敏感な短期債から長期債に投資資金を移す動きが加速し、利回り曲線のフラット化が進んだ。

午前の利回りは、30年債が2.99%（前日3.04%）、10年債が2.24%（2.27%）、7年債が2.01%（2.04%）、5年債が1.66%（1.66%）、3年債が1.20%（1.21%）、2年債が0.87%（0.88%）。

≪欧州のポイント≫

①プラート ECB 専務理事は、ユーロ圏のインフレ率は経済の緩みにより引き続き低水準だと指摘し、ECB は行動する用意があることを示す必要があるとの考えを示した。専務理事は、ECB はインフレ目標を達成する時期をこれまで何度も先延ばしにしているため、ECB への信頼性の問題が浮上しているとの見方を示した。

②10 月の英小売売上高は、前月比-0.6%で、3 月以来の大幅な落ち込みとなった。食品販売店舗の売上高が 2014 年 5 月以来の大幅な落ち込みとなったことが響いた。ただ、賃金の上昇や商品の店頭価格の下落、低金利に支えられ、英消費者心理は引き続き堅調となっている。前年同月比では+3.8%。

③ECB、金融政策を決める 10 月 22 日の理事会の議事要旨を発表した。物価上昇率を 2%弱とする目標を達成するには現在の金融緩和政策では不十分な恐れがあるとして、国債を買い取る量的緩和の拡大の必要性を議論したことが分かった。理事会では、追加緩和をすぐに決めるべきだと示唆する意見もあったが、結論を急がずに経済指標を精査する方針でまとまった。ドラギ総裁は記者会見で、12 月 3 日の次回理事会で追加緩和を検討する考えを表明した。理事会は物価を押し下げるリスク要因として、経済見通しの不確実性や原油安などを挙げた。企業や家計への融資を増やす狙いで、銀行が ECB に資金を預ける際に手数料を課すマイナス金利の幅を広げることも話し合った。

3 : 00

≪米 10 年物 TIPS 入札≫

最高落札利回り・・・0.664%（前回 0.600%）
 最低落札利回り・・・0.388%（前回 0.450%）
 最高利回り落札比率・・・75.83%（前回 59.17%）
 応札倍率・・・2.38 倍（前回 2.36 倍）
 発行額・・・130 億ドル（前回 130 億ドル）

3 : 00

≪ 要人発言 ≫

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「利上げは明るい見通し確認と受け止めるべきだ」
- ・「利上げの軌道は比較的ゆっくりしたもの」
- ・「初回利上げの幅は 25bp に」

4 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 9.20 ドル高の 1 オンス=1077.90 ドルで取引を終了した。

5 : 10

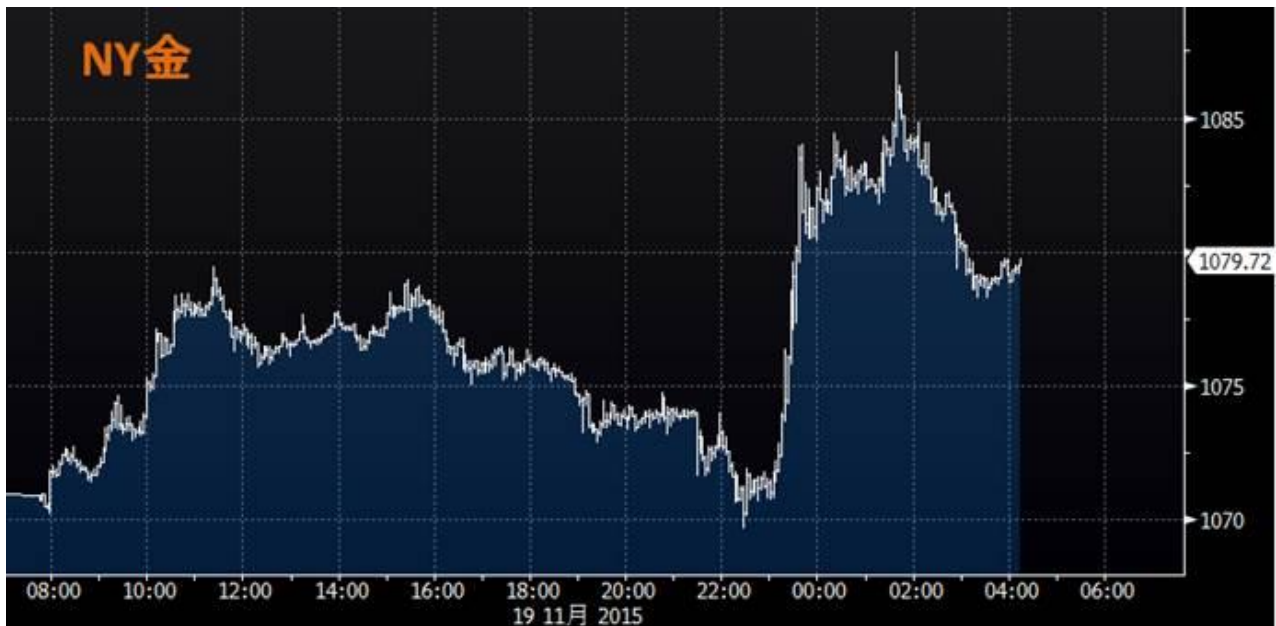
NY 原油は、中心限月が前日 0.21 ドル安の 1 バレル=40.54 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1077.90	+9.20
NY 原油	40.54	-0.21

(出所:SBILM)

≪ NY 金市場 ≫

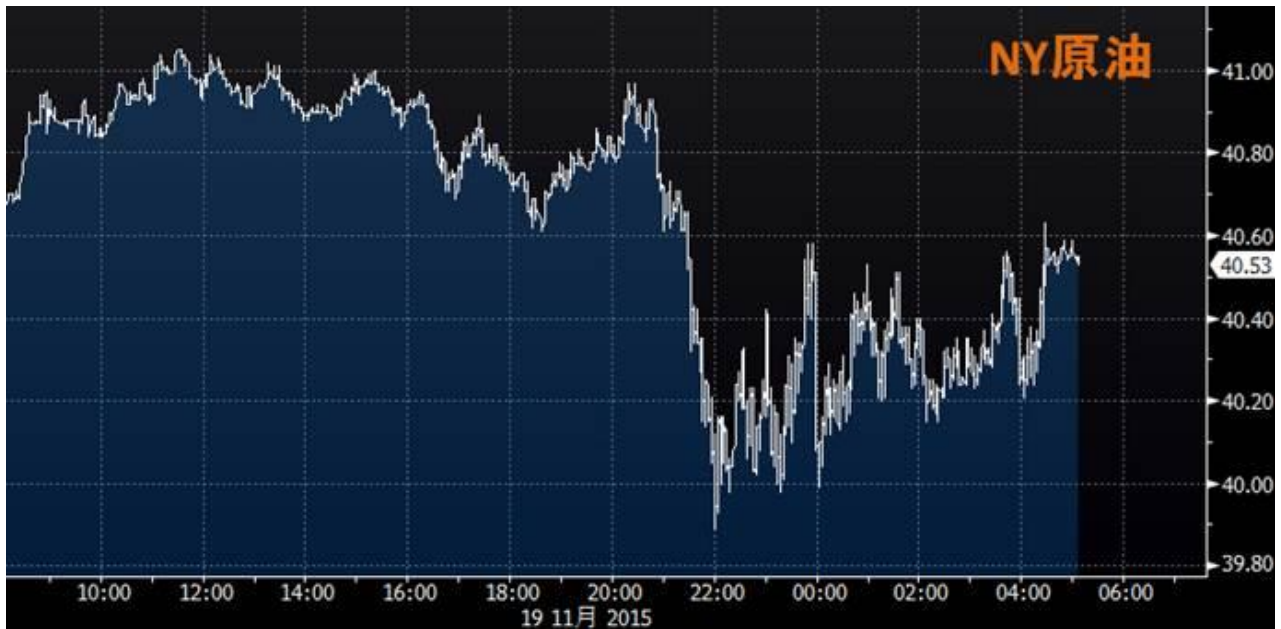
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したのにつれて、ドルの代替資産とされる金を買う動きが広がった。また、最近の下落で約 5 年 9 ヶ月ぶりの安値水準にあることから、値頃感からの買いも入っていた。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、世界的な供給過剰感が引き続き売りを促し、一時1バレル40ドルを下回った。ただ、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油に割安感が出たことから買い戻しも入った。



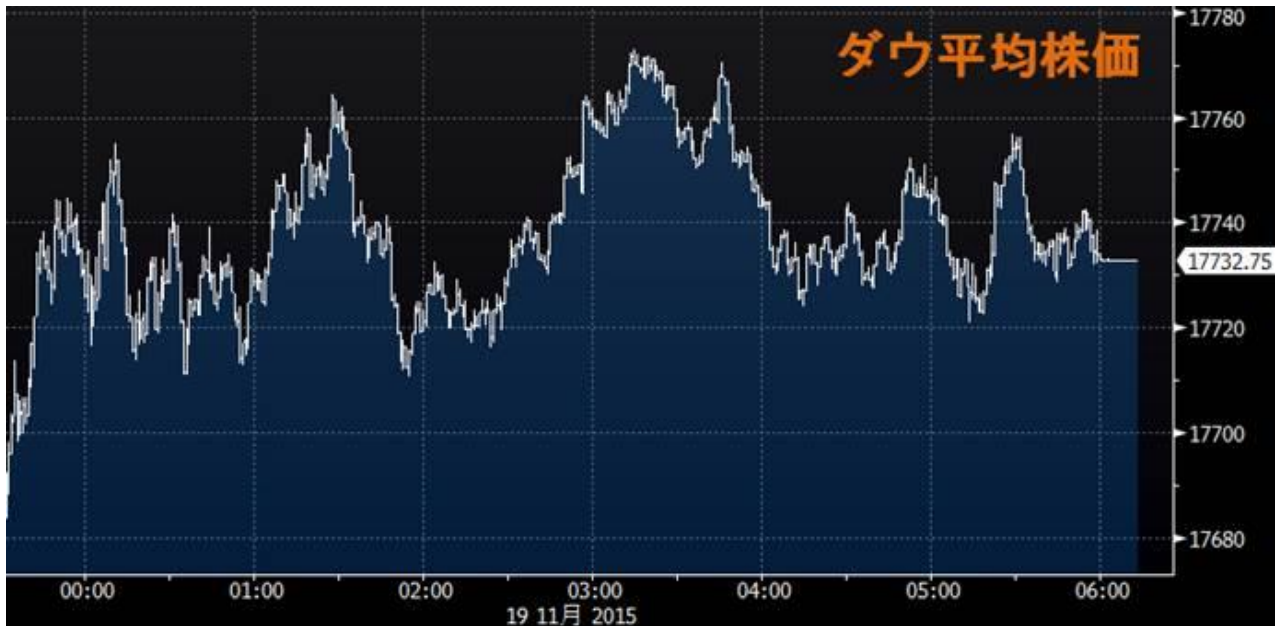
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17732.75	-4.41	17772.97	17681.98
S&P500 種	2081.24	-2.34	2086.74	2078.76
ナスダック	5073.64	-1.56	5092.46	5067.27

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前日に大幅上昇した反動で売りが出る一方、アジアや欧州の株価が堅調な動きとなっていることを好感した買いもあり、主要株価は終盤までもみ合いの展開が続いた。ダウ平均株価は、終盤まで狭いレンジ内の展開が続き、小幅安で引けた。



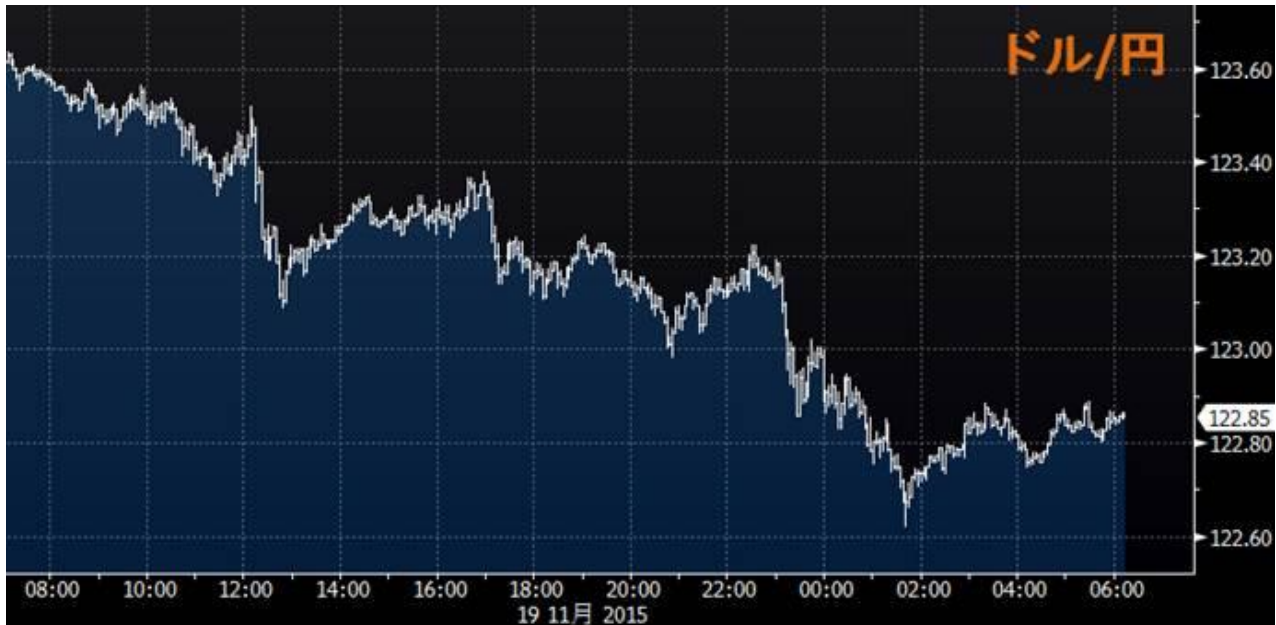
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	122.89	123.23	122.63
EUR/JPY	131.87	132.05	131.44
GBP/JPY	187.89	188.18	187.76
AUD/JPY	88.36	88.51	88.04
NZD/JPY	80.53	80.86	80.19
EUR/USD	1.0732	1.0763	1.0669
AUD/USD	0.7190	0.7215	0.7153

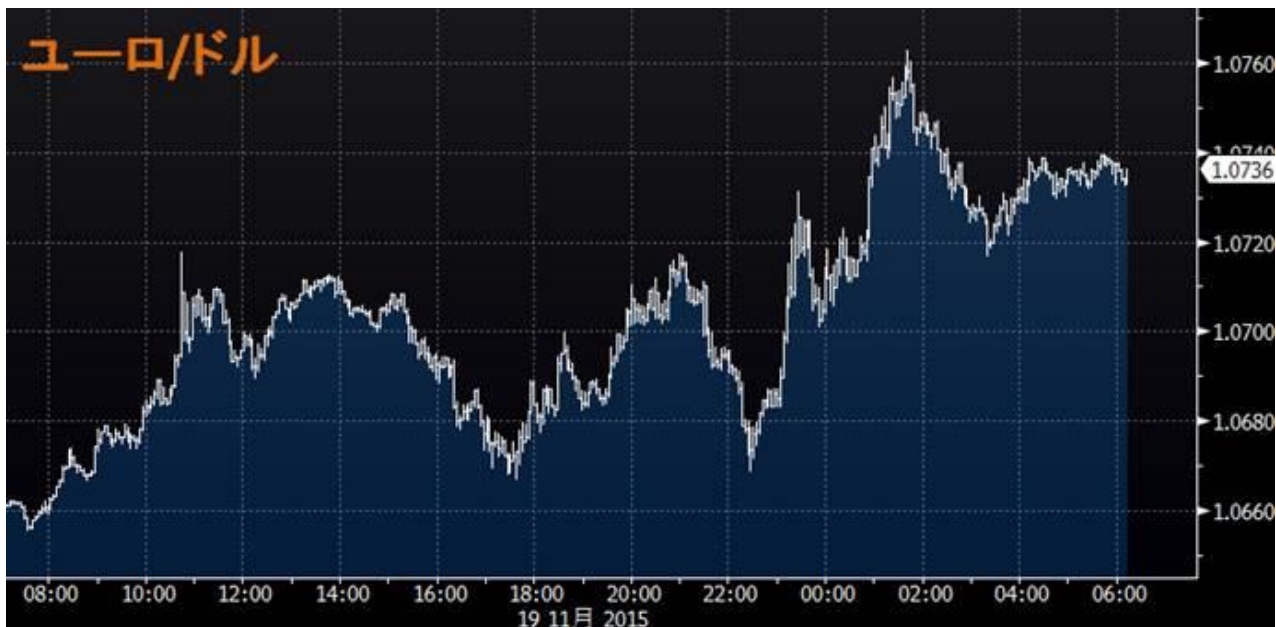
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、日米の金融政策関連の発表が終了したことで、一服感からここまで続いたドル買いの反動から、利益確定のドル売り・円買いが優勢となった。また米国の主要な経済指標の発表もあったが、反応は限定的となった。ドルは、主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。